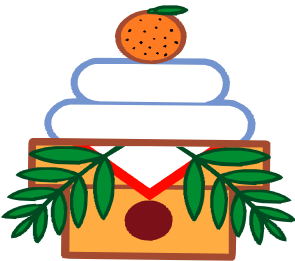
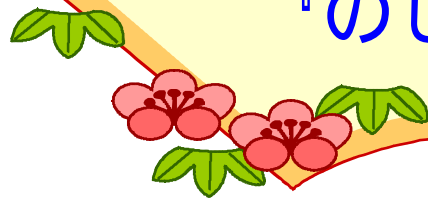


認知症対応型グループホーム

『のじり苑』新聞

1月



新年あけましておめでとうございます。

2008年は皆様のご協力もあり無事に終わることが出来ました。

2009年も楽しく健康に1年を過ごせるように、頑張りたいと思います。これからものじり苑を宜しくお願い致します。

それでは今年初めの「のじり苑」新聞をお楽しみください。



うとう幼稚園来苑 クリスマス会



のじり苑で初めて、園児を招きクリスマス会を開催しました！

前々から職員と利用者様みんなで協力し、飾りを作ったり、園児と一緒に合唱する為に歌の練習をしてきました。

今朝早くから、ある男性利用者様は歌詞カードを手にし、「ちゅーりっぷ」「ゆき」を練習していました。「これくらいしか出来ない。自分も楽しみたい」と一言。努力家な方なので、背中を押して協力してあげたいと思いました。

園児が到着すると、賑やかな玄関のほうに気がなり、皆様の興奮はピーク！拍手で出迎え、満面の笑みで園児の歌を聞いていました。手話も使われ、見事な合唱でした！！園児の皆さんは一生懸命大きな声を出し歌っていて、利用者の皆様が手拍子しながらニコニコじっくり聴いているのを見て、思わず感動しうるうりました。

次に、朝から歌の練習していた利用者様がお待ちかねの、利用者様と園児による合唱です。しっかり歌詞カードを持ち、口ずさんでいました。マイクを渡すと照れながら上手に歌っていました。

次に利用者様と園児の代表でプレゼント交換。「これから小学生になると、勉強も難しくなるけども、頑張ってください！」と立派な挨拶をしていました。のじり苑からは、利用者様の手作りのお手玉のプレゼント。これも何日もかけ、やっと出来た作品です。「これでいっぱい遊んでくれればいいな」と、作って下さった利用者様が言っていました。園児の皆さんからは、手作りのクリスマスリース、首飾りを頂き、直接利用者様全員の首にかけていただきました。これには利用者の皆様大喜び！！最後にのじり苑利用者、職員による仮装で、サンタクロースとトナカイになり園児一人ひとりにお菓子のプレゼントをしました。

今回ご協力していただいた、うとう幼稚園の園児の皆様、職員の皆様、本当にありがとうございました！！

高坂



クリスマス会



25日は、クリスマス会をしました。
職員がサンタさんとトナカイの格好をして、利用者様にささやかなプレゼントとケーキを渡しました。

とても喜んで満足してくださった様子で、うれしかったです。
千葉

認知症への理解



今回はレビー小体型認知症について書きたいと思います。

レビー小体型認知症はアルツハイマーに次いで多い病気で、女性より男性の方が2倍程多いと言われています。

レビー小体型認知症は物忘れから始まる他に幻視という症状も現れてきます。

幻視とは幻覚と似ていて居るはずのない人が生々しく見えたり、布団が人の姿に見える症状です。これらは暗くなると現れやすくなってきます。

また気分や態度の変化が激しく、一日の中で、穏やかだった状態から急に興奮したり、錯乱状態になったりと繰り返し変化します。

レビー小体型認知症は運動機能障害にも症状が現れてきます。症状はパーキンソン病と似ており、歩行障害や身体が硬直するような状態になります。アルツハイマー患者と比べて、転倒の危険性が高くなり、寝たきりにもなりやすいと言われます。

もう一つの特徴として、便秘や尿失禁が目立ちますが、他にも起立性低血圧など血圧の調整障害が見られる事です。

起立性低血圧は、立ち上がると、急激な血圧の低下が見られ、ひどい場合には失神をおこす場合があります。このため立位歩行が困難になる事もあります。

レビー小体型認知症の治療は抗精神薬による精神症状のコントロールと運動症状に対する抗パーキンソン病薬、自律神経障害に対しての血圧コントロールなどになります。これらの薬は他の症状を悪化させる場合があるため、薬の調合が難しい場合もあり、個々の患者さんの生活や介護がしやすいように薬をうまく考える必要があります。

今月の行事予定

5日

木村戸子様誕生日会

10日

間山良子様誕生日会

16日

吉田武士様誕生日会

20日

高橋照江様誕生日会

未定

初詣



グループホームのじり苑
〒030-0122 青森市野尻字今田58-1
TEL 017-738-6863 FAX 017-728-6448

ブログ

<http://nojirien.livedoor.biz/>

ホームページ

<http://www1.ocn.ne.jp/nojirien/>

メールアドレス

nojirien@circus.ocn.ne.jp